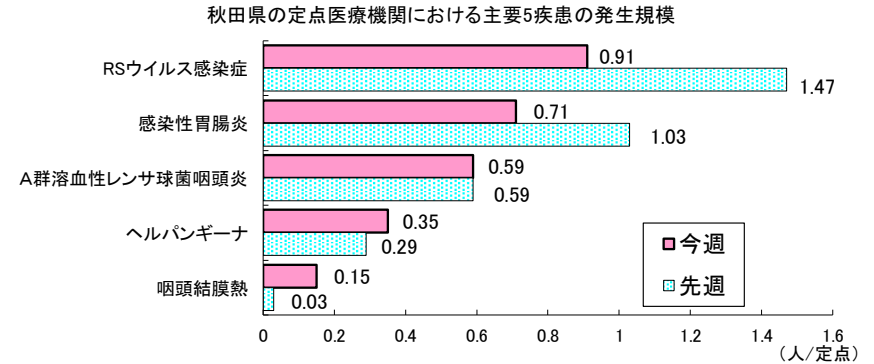




【第31週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. RSウイルス感染症は、県全体で38%減少しています。保健所別では、秋田市、能代、湯沢で増加、大館、北秋田、由利本荘、大仙、横手で減少しています。
2. 感染性胃腸炎は、県全体で31%減少しています。保健所別では、秋田市、能代で増加、大館、秋田中央、大仙、横手、湯沢で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で同規模です。保健所別では、大館、秋田中央、大仙で増加、由利本荘で同規模、秋田市、横手、湯沢で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第30週	第31週	増減	第30週	第31週	増減	第30週	第31週	増減	第30週	第31週	増減	第30週	第31週	増減	第30週	第31週	増減	第30週	第31週	増減	第30週	第31週	増減	第30週	第31週	増減			
RSウイルス感染症	1.47	0.91	↘	0.71	0.86	↗	2.50	1.25	↘	0.50			1.00	1.67	↗				0.50	0.25	↘	1.00	0.25	↘	7.00	2.67	↘	1.33	1.67	↗
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.03	0.15	↗	0.14		↘		0.25	↗								0.75	↗		0.25	↗									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.59	0.59		0.29	0.14	↘	0.75	1.25	↗							0.25	0.75	↗	0.50	0.50		0.75	1.00	↗	2.33	1.67	↘	0.67		↘
感染性胃腸炎	1.03	0.71	↘	1.14	1.29	↗	0.75	0.50	↘				1.00	1.67	↗	2.25	1.25	↘				2.50	0.75	↘	0.33		↘	0.33		↘
水痘	0.09	0.03	↘				0.25		↘							0.25	0.25		0.25		↘									
手足口病	0.03	0.12	↗		0.29	↗		0.25	↗								0.25	↗	0.25		↘									
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.24	0.15	↘	0.43	0.43		0.75		↘					0.33	↗				0.25		↘	0.25		↘					0.33	↗
ヘルパンギーナ	0.29	0.35	↗											0.33	↗		1.00	↗	2.50	1.75	↘	0.25		↘						
流行性耳下腺炎	0.09		↘													0.50		↘	0.25		↘			↘						
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.14		↘							*	*		*	*		*	*							1.00		↘	*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎		0.13	↗											1.00	↗	*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数があったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、大仙保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の侵襲性肺炎球菌感染症が大仙保健所管内から1人、報告されました。
- ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から42人、大館保健所管内から11人、北秋田保健所管内から1人、能代保健所管内から2人、秋田中央保健所管内から1人、由利本荘保健所管内から1人、大仙保健所管内から8人、横手保健所管内から6人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-30週		31週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
	結核	9039	44	2
	ジフテリア			
二類	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ			
	細菌性赤痢	5		
	腸管出血性大腸菌感染症	1395	11	
	腸チフス			
	パラチフス			
	三類	E型肝炎	285	
ウエストナイル熱				
A型肝炎		43		
エキノкокクス症		16		
黄熱				
オウム病		5		
オムスク出血熱				
回帰熱		4		
キャサナル森林病				
Q熱		1		
四類	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	74		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	1週-30週		31週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	129	1	
	デング熱	3		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	212		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	5		
	マラリア	10		
	野兎病			
	ライム病	14		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	1039	7		
レプトスピラ症	6			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	312	2	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	107	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1053	18	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	12		
	急性脳炎	204		
	クリプトスポリジウム症	3		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	96		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	366	3	
	後天性免疫不全症候群	597		
	ジアルジア症	23		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	123	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1		
	侵襲性肺炎球菌感染症	807	6	1
	水痘(入院例に限る)	157	3	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	3914	27	
	播種性クリプトコックス症	79		
	破傷風	49		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	75		
百日咳	366	3		
風しん	7			
麻しん	3			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1			
* 新型コロナウイルス感染症		847	72	

* 新型インフルエンザ等感染症

トピック

<新型コロナウイルスの変異株について>

新型コロナウイルス感染症が全国的に再拡大しています。その一因として、変異株の影響が指摘されています。変異株は、感染性などが従来のウイルスより高まっている可能性があるため、より一層感染防止策を徹底する必要があります。

■変異株

一般的に、ウイルスは増殖や感染を繰り返す中で少しずつ変異します。新型コロナウイルスの場合は、約2週間間で一箇所程度の速度で変異していると考えられています。変異のリスクに応じて、注意が必要な変異株は「懸念される変異株(表)」と「注目すべき変異株」に分類されています。

■予防対策

秋田県では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、県民の皆様にご協力をお願いします。マスクの着用、手洗いの励行といった基本的な感染対策を徹底するとともに、感染リスクの高まる行動等を控えて、感染拡大防止にご協力をお願いします。

(参照)秋田県のホームページ:

- ・県民の皆様への新型コロナウイルス感染症対策についてのご願い

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/49988>

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのお願い

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/49784>

表 新型コロナウイルスの懸念される変異株(2021年7月末時点)

変異株の呼称	最初の検出例	主な変異	特徴
アルファ株	2020年9月 英国	H69/V70欠失 Y144欠失 N501Y A570D P681H	感染性、重篤度の増加の可能性
ベータ株	2020年5月 南アフリカ	242-244欠失 K417N E484K N501Y	感染性、重篤度の増加の可能性 ワクチン効果を弱める可能性
ガンマ株	2020年11月 ブラジル	K417T E484K N501Y	感染性、重篤度の増加の可能性 ワクチン効果を弱める可能性
デルタ株	2020年10月 インド	L452R T478K D614G P681R	感染性、重篤度の増加の可能性 ワクチン効果を弱める可能性



RSウイルス感染症情報

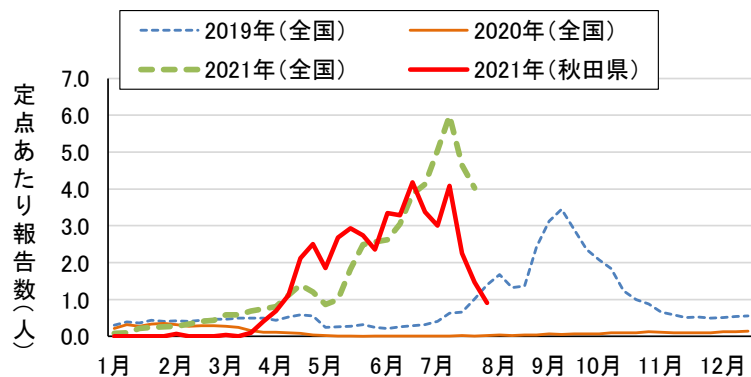


図1 RSウイルス感染症の定点あたり報告数の推移

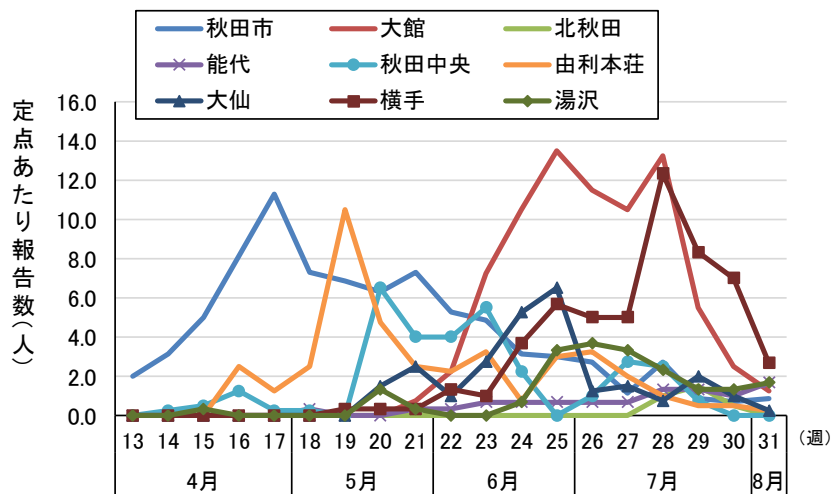


図2 RSウイルス感染症の保健所別定点あたり報告数(2021年)

感染性胃腸炎の集団発生報告

感染性胃腸炎の集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児)	職員	計		
横手市	明照保育園	8/5	99名のうち 16名	34名のうち 0名	16名	8/2 ~ 8/5	発熱、嘔吐、下痢

その他の感染症の集団発生報告

RSウイルス感染症集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
			園児、入所者等	職員	計		
大仙市	大曲乳児保育園	8/3	44名のうち 17名	17名のうち 0名	17名	7/28 ~ 8/3	発熱

かぜ様症状の集団発生報告が2件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
			園児、入所者等	職員	計		
五城目町	もりやまこども園	8/2	143名のうち 45名	50名のうち 0名	45名	7/26 ~ 8/2	発熱、咳
大仙市	大曲北保育園	8/3	99名のうち 16名	20名のうち 0名	16名	7/28 ~ 8/3	発熱



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		